

令和7年事業計画の概要

※括弧内の金額はR7予算

資料 1 - 2

歯科口腔保健
推進の方向性

1 乳幼児期及び少年期の 歯科口腔保健対策の重点化

2 歯周病予防対策の強化

3 要介護者、障害児・者への 歯科口腔保健対策の充実

4 連携体制の整備を推進するための 施策の展開

県民に対する啓発普及

歯科医療従事者等に
対する研修

① 妊娠期における歯科保健対策事業（297千円）

妊産婦及び乳幼児の歯科口腔保健の推進を図るための普及啓発を行う

妊産婦向けパンフレットを増刷し、市町村、産科医院等を通じて配布し、妊娠期・胎児期からの切れ目のない歯科口腔保健の取組を推進

② 宮城県歯科保健大会（678千円）

宮城県、宮城県教育委員会、宮城県歯科医師会の共催で各種表彰や講演を実施

・各種コンクール最優秀賞・特別賞受賞者の表彰式及び特別講演の実施を通じて広く県民への啓発を図る。
・宮城県歯・口の健康に関する標語・図画・ポスターコンクール受賞作品展（11月 県庁1階ロビー）

③ フッ化物洗口普及事業（2,016千円）

施設への新規導入について、市町村を支援しフッ化物洗口の普及を推進。むし歯のある子どもとその保護者に対して、重点的な保健指導や予防措置の取組が推進されるように市町村を支援、連携体制を強化

・市町村及び施設への説明会対応
・導入施設での保護者説明会講師等対応
・導入時の技術的助言・支援
・学校でのフッ化物洗口実施をサポートする人材確保と研修会の開催を通じて育成を通じて学校での導入を支援

などの取組を通じてフッ化物洗口の導入を支援、健康格差の解消を図る。

⑥ 少年期・青年期の歯周病予防啓発事業（444千円）

高校生等への歯肉炎対策に係る体験型の啓発を実施

高校等への歯科清掃用具等を配布、口腔ケア方法の指導や普及啓発を実施
より学校や地域と密着した取り組みとなるよう、学校の保健委員や地域の歯科医師、歯科衛生士と連携し、実施内容を企画、学校や地域の状況に応じた内容で実施

⑨ 幼児歯科保健関係者研修会（60千円）

幼稚園教諭、保育士、市町村母子保健担当者等への研修会を行い歯科口腔保健を推進

研修動画配布等を通じて保育現場等での歯科保健の取組の充実を図る。

⑩ 少年期の歯と口腔の健康づくり支援者研修会〔委託〕（324千円）

小中学校保健主事、養護教諭等への研修会を行い、学童期における歯科口腔保健を推進

歯科医師会と連携し、養護教諭や学校歯科医向けの教育教材（改訂版）を活用し、地域での研修の実施により、学校での指導を支援

④ 働き盛り世代、職域に対する歯と口腔の健康づくり 普及啓発事業（1,014千円）

働き盛り世代の歯周疾患への予防啓発

スマートみやぎ健民会議・協会けんぽ等と連携した事業所での普及啓発、事業所における優良事例を県ホームページで紹介などを通じて横展開を図る。

⑤ 口腔機能維持向上事業（1,021千円）

働き盛り世代に対して、オーラルフレイル等の口腔機能維持のための知識に関する普及啓発の取組を実施

オーラルフレイル等に関する啓発資料を作成、スマートみやぎ健民会議などを通じて活用し、働き盛り世代のオーラルフレイル対策を促進。また、「ゆっくりよくかんで食べる」ことの啓発により肥満防止にもつなげる。④の事業と連動

⑦ 市町村への補助事業（市町村健康づくり推進事業）

市町村が行う歯科口腔の健康に関する事業費の補助

受動喫煙防止対策推進事業

受動喫煙防止対策事業にからめた啓発
※歯科保健とは別予算にて事業実施

⑧ 特定健診歯科口腔保健指導導入事業〔委託〕（10,662千円）

特定健診時に歯科保健指導を導入、歯科の側面から生
歯科医師会、モデル市町村と連携し特定健診時の歯科保健指導を実施、歯科受診や適切な口腔衛生習慣の定着等を促す。

⑪ 障害児親子歯みがき教室〔委託〕（357千円）

障害児の保護者、施設職員等に対する歯みがき指導をととして、障害児への口腔ケアの定着を推進（2か所程度）

⑫ 障害児親子歯みがき教室支援者研修事業〔委託〕（387千円）

障害児・者自身と保護者の口腔ケアに関する知識と技術の普及と向上を図る研修会の実施により、障害児・者自身と保護者に対する指導を行うことができる人材を育成する。

歯みがき教室に加え、歯科衛生士会と連携し、障害児・者の歯科保健や公衆衛生活動に興味のある歯科衛生士の人材育成に関する研修会を開催し、取組の裾野を広げる。

⑬ 在宅歯科医療連携室整備事業

1 在宅歯科医療連携室整備事業〔委託〕（7,489千円）

全県的な在宅歯科医療の相談窓口を設置等

みやぎ訪問歯科相談室の設置や利用の促進に向けた周知・広報、研修会開催等を通じて県内の相談対応機能を強化

2 在宅及び障害児・者歯科医療連携室整備推進事業〔補助〕（2,474千円）

在宅及び障害児・者に対する歯科医療提供体制を整備するため、人員の配置及び研修会の実施に補助

みやぎ訪問歯科・救急ステーションへの人員配置、歯科医療連携合同協議会開催への補助を通じて歯科医療提供体制を強化

変更

⑭ 要介護者及び障害児・者の口腔ケア支援者研修事業〔委託〕（1,286千円）

ヘルパーや施設職員等を対象とした要介護者及び障害児者の口腔ケアの必要性とその方法についての研修を実施

要介護者及び障害児・者の口腔ケアの理解と知識の普及に向けた研修会を開催。適切な技術の習得と知識の普及を図る。研修会開催3回→4回

⑮ 歯科保健推進協議会（313千円）

本県の歯科口腔保健事業の実施方針の協議、本県の歯科口腔保健に係る重要事項を決定（会議開催経費）

⑯ 口腔保健支援センター運営事業（7,191千円）

歯科医療等業務の従事者、市町村担当者等を対象にした啓発、情報収集、人材育成を目的とした研修会を実施し、各種歯科口腔保健

第3期宮城県歯と口腔の健康づくり基本計画に基づき、各種施策を展開。地域間格差の解消や健康格差の解消に向け、地域課題に応じた効果的な施策が展開されるよう、市町村や地域の歯科専門職と連携した取組を推進

⑰ 食育を通じた歯と口腔の健康づくり事業（387千円）

変更

食育を通じた歯と口腔の健康づくりについて、教育庁と連携した啓発事業を実施

教育機関と連携して「ゆっくりよくかんで食べる」ことの啓発等を行うことによって、児童・生徒が生涯を通じて主体的に歯と口腔の健康づくりに取り組めるよう支援する。

⑱ 8020運動及び歯科口腔保健の推進に関する検討評価委員会（230千円）

8020運動推進特別事業等の実施手法に関する検討・評価（会議開催経費）

⑲ 市町村歯科保健担当者研修会（222千円）

市町村の歯科保健・母子保健担当者による県内の課題共有と市町村間の情報交換

市町村研修会（大規模災害／情報交換）

・大規模災害時の避難所等への歯科医療救護に関する対応について関係団体や関係各課との連携体制強化
・市町村間の意見交換及び課題共有